



令和4年6月15日
第858号

一般財団法人日本遺族会
〒102-8246 東京都千代田区九段南一丁目六番一七号
千代田会館三階 5521
電話 03-3261-2538
03-3261-2539
電報 00160-6
編集 毎月1回15日発行
定価 毎月1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

ブロック会議各地で開催

政治連盟 水おち敏栄総決起大会も開催

遺族会活動の喫緊の課題である処遇改善や次世代青年部への活動継承について話し合うため、全国5か所でブロック会議が開催された。終了後、日本遺族政治連盟総決起大会が開かれ、遺族の声を国政に届ける代表の重要性が再認識され、後援会活動の更なる拡大が確認された。

5月9日から25日にかけて、全国5地域からなるブロック会議が東京都一宮、京都府、秋田県で相次いで開催された。最終協議を迎える戦没者



第5ブロック会議でのガンパローコール
= 5月11日、熊本県で



第2ブロック会議でのガンパローコール
= 5月9日、自由民主党本部ホールで



第3ブロック会議でのガンパローコール
= 5月23日、京都府で



第4ブロック会議でのガンパローコール
= 5月16日、愛媛県で

等々の妻に対する特別給付金、令和7年に最終償還を迎える戦没者等の遺族に対する特別弔慰金をはじめとする戦没者遺族に対する処遇の継続について活発な議論が交わされた。

そして、国の命で戦陣に倒れた戦没者遺族に対する処遇は、「国家補償の理念で求めること」が再確認された。また最大の課題として、急務である次世代青年部への活動の継承が審議された。

会議終了後、日本遺族政治連盟水おち敏栄総決起大会が開かれた。ロシアによるウクライナ

の妻に対する特別給付金、令和7年に最終償還を迎える戦没者等の遺族に対する特別弔慰金をはじめとする戦没者遺族に対する処遇の継続について活発な議論が交わされた。

そして、国の命で戦陣に倒れた戦没者遺族に対する処遇は、「国家補償の理念で求めること」が再確認された。また最大の課題として、急務である次世代青年部への活動の継承が審議された。

会議終了後、日本遺族政治連盟水おち敏栄総決起大会が開かれた。ロシアによるウクライナ

靖國神社

みたままつり

献灯のご案内

靖國神社みたままつりが、七月十三日から十六日まで、四日間賑々しく執り行われます。

ご遺族、戦友会、崇敬者の方々など、多くの皆様の献灯をお願いいたします。

献灯初穂料

小型献灯 一灯につき 三千元
大型献灯 一灯につき 一万二千元

お申し込みは、左記の靖國神社事務所献灯係までお問い合わせください。

申込要領等をお送りいたします。

お問い合わせ

靖國神社事務所 献灯係

〒102-8246 東京都千代田区九段北三二-1

電話 03(3261)8326(代)

小型献灯

大型献灯

一般財団法人 日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、英霊顕彰や遺族援護など様々な活動のために賛助金を募っております。本会は、これまで英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉増進をはかるため、日々活動を行ってきたところでございますが、東日本震災により収益部門であった九段会館が閉鎖したことに伴い、現在、慰霊友好親善事業をはじめ遺骨収集帰還等各種事業の継続が大変厳しい状況にあります。本会といたしましては、各種事業を行うにあたり、今後とも努力していくことは勿論のことですが、戦没者ご遺族並びに本紙ご購読者、本会の諸事業にご賛同される皆様方より一層のご支援・ご協力を仰がなければなりません。本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方の氏名を本紙に掲載し、お礼に代えさせていただきます。

※賛助金につきましては、誠に勝手ではございますが、お一人様1万円程度からお願しております。

賛助金のお振込みは

●郵便振替 00130-2-694929 ●みずほ銀行 九段支店 普通預金 0980930
口座名は「日本遺族会」一一般財団法人日本遺族会：ザイニホンイソクカイ

※ご不明な点は本会事務局(電話03-3261-5521)までお問い合わせ願います

戦没者墓苑式 3年ぶりに挙行される 秋篠宮皇嗣同妃両殿下ご臨席

厚生労働省主催の千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝式が5月30日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席のもと3年ぶりに挙行された。新型コロナウイルス感染症防止の観点から規模を縮小しての挙行となった。式典では政府派遣の戦没者遺骨収集帰還団等が旧戦域で収容した遺骨のうち、217柱が新たに納骨され、約140人の参列者が戦没者の冥福を祈った。

式典は、午後零時28分、秋篠宮皇嗣同妃両殿下が御臨席になられ開式された。国歌演奏の後、古賀篤厚生労働副大臣が式辞を述べるとともに、同副大臣の手により遺骨が納められた。

今回の拝式で納骨された217柱は、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご拝礼に合わせ参列者一同も拝礼。秋篠宮皇嗣同妃両殿下ご退場後、皇宮警察音楽隊が慰霊の曲「慰安する」を奏で、長、外務、環境・防衛各



ご拝礼に向かわれる秋篠宮皇嗣同妃両殿下 = 5月30日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

テニアン島で70柱を収容

マリアナ諸島現地調査で

日本戦没者遺骨収集推進協会主催によるマリアナ諸島現地調査第1次派遣に、本会から1人の参加協力を行った。同派遣は4月27日から5月11日の期間で実施した。27日成田空港でPCR検査を受け、陰性者のみが夕方グアム島に向けて出発、翌日サイパン島を経由し



南マサログの集団埋葬地での遺骨調査 = 5月1日、テニアン島で

慰霊友好親善事業

遺児の参加者を募集

募集要項は次の通り。▼時期及び地域 実施計画概要参照。▼参加費 10万円。※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明



個人慰霊祭で亡き父上に語りかける = 平成30年10月、トラック・パラオ諸島で

実施計画概要

| 実施地域 | 実施時期 | 募集人員 | 申込締切 |
|-------------------|-------------------|------|--------|
| 1 西部ニューギニア | 令和4年9月28日～10月7日 | 40人 | 7月25日 |
| 2 トラック諸島 | 令和4年10月8日～10月14日 | 15人 | 8月10日 |
| 3 パラオ諸島 | 令和4年10月8日～10月14日 | 15人 | 8月10日 |
| 4 ボルネオ・マレー半島 | 令和4年10月12日～10月21日 | 40人 | 8月12日 |
| 5 マリアナ諸島 | 令和4年10月21日～10月27日 | 40人 | 8月19日 |
| 6 東部ニューギニア | 令和4年11月2日～11月9日 | 42人 | 9月2日 |
| 7 ビスマルク諸島 | 令和4年11月2日～11月9日 | 40人 | 9月2日 |
| 8 ミャンマー・タイ | 令和4年11月10日～11月18日 | 80人 | 9月9日 |
| 9 ソロモン諸島 | 令和4年11月16日～11月23日 | 20人 | 9月16日 |
| 10 フィリピン(1次) | 令和4年11月25日～12月2日 | 120人 | 9月22日 |
| 11 マーシャル・ギルバート諸島 | 令和5年1月14日～1月22日 | 30人 | 9月13日 |
| 12 東部ニューギニア(特定地域) | 令和5年2月1日～2月8日 | 36人 | 11月28日 |
| 13 台湾・パシフィック海峽 | 令和5年2月9日～2月15日 | 30人 | 12月9日 |
| 14 西部ニューギニア(特定地域) | 令和5年2月16日～2月25日 | 36人 | 12月16日 |
| 15 ミャンマー(特定地域) | 令和5年2月28日～3月8日 | 36人 | 12月23日 |
| 16 フィリピン(2次) | 令和5年3月10日～3月17日 | 120人 | 1月10日 |
| 17 中国 | 令和5年3月22日～3月30日 | 80人 | 1月20日 |

本会への賛助金のお礼

本紙でもお願いしている本会への賛助金につきまして「ご賛同いただきまして左記の方々に対し、お礼申し上げます。なお、大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方、省個人慰霊祭で亡き父上に語りかける = 平成30年10月、トラック・パラオ諸島で

慰霊友好親善事業 実施三十周年記念誌についてのお知らせ

日本遺族通信第857号3面で掲載した「慰霊友好親善事業実施三十周年記念誌」につきまして、詳細が決定次第、本誌にてお知らせいたします。有料頒布を行うことで、検討を行っております。領布価格や申込方法等、詳細が決定次第、本誌にてお知らせいたします。

